



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.

水系硬質ウレタン樹脂モルタル系塗床材

エカアト レジモルハードUW

F☆☆☆☆ 認定品

非TX

非鉛・クロム

文科省指定6非含有

厚労省指定13非含有

高次元の耐

熱

水

薬

撃

性



SINCE 1932.

大同塗料株式会社
DAIDO CORPORATION®



ユカクリートレジモルハードUWは、「低臭性」「速 従来のウレタン系塗床材、エポキシ系塗床材、 「耐熱性」「耐水性」「耐薬品性」「耐衝撃性」を (防滑仕上げ 厚み約7mm)

特長

1 環境対応

水系塗床材なので、「安全性」が高い上に「低臭性」で、施工中の溶剤臭気や残存臭気を嫌う場所に適しています。

2 高い圧縮強さ

重量のかかる場所に適しています。
レジモルハードUW 40MPa以上
(通常のコンクリート・モルタル 約18~20MPa)

3 耐熱性・耐水性

温水、熱水の流れる場所、特に厨房、食品工場などの床面や釜下などに適しています(防滑仕上げ 厚み約7mmの場合)。

4 速硬性

強度や接着性の発現が速く、施工後翌日(16時間後)には作業が可能です。

5 少ない工程数

改修がスムーズに行えます。
(防滑仕上げは1工程、平滑仕上げは2工程)。

6 耐摩耗性

リフトなど重車両の走行にも耐久性のある床面を形成します。

7 耐衝撃性

重量物が落下しても割れやはがれが起こりにくく衛生的な床面を形成します。

8 耐薬品性

酸・アルカリ・溶剤などに耐える床面を形成します。

9 高い付着力

コンクリート及びモルタル下地に対して、付着力の高い、耐久性に優れた仕上がりになります。

10 ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

日本塗料工業会の認定を受けています。
日塗工登録番号:
D01087(防滑仕上げ)、D01088(平滑仕上げ)

11 食品衛生法

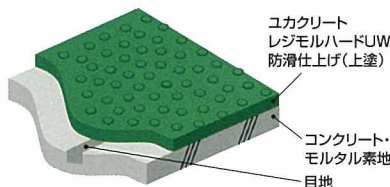
食品衛生法・食品、添加物等の規格基準、個別に規格された以外の合成樹脂製の容器又は容器包装(平成18年厚生労働省告示第201号)の試験に合格しています。

食品衛生法 合格証明書▶
(平成18年厚生労働省告示第201号)



防滑仕上げ 厚み 約7mm

※色見本は印刷のため色調が異なります。



グリーン

C O L O R S

※色見本は印刷のため色調が異なります。

※グレーは紫外線のある場所では黄変します。
※レッド・イエロー・グレーは防滑仕上げ、平滑仕上げのどちらも選択できます。
ただし、着色骨材は20kg×20袋=400kg以上の受注生産になります。
※立面仕上げは近似色となります。



レッド

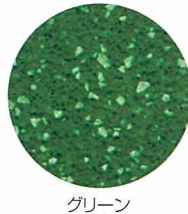
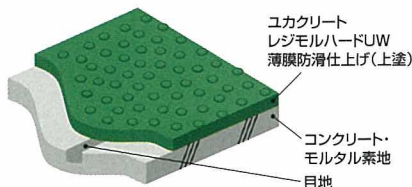


イエロー



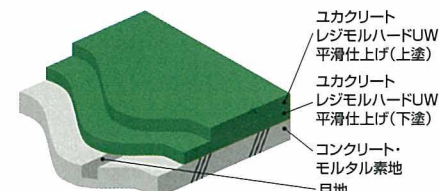
グレー

薄膜防滑仕上げ 厚み 約3mm



グリーン

平滑仕上げ 厚み 約4mm



グリーン

巾木・側溝などの立面には…

ユカクリート レジモルハードUW 立面仕上げもごさいます。必要に応じてお問い合わせ下さい。



「硬性」を兼ね備えただけでなく、
MMA系塗床材よりも
飛躍的にアップしました。

耐熱温度: 130°C
(防滑仕上げ 厚み約7mm)

耐熱性を必要とされる場合は、必ず
「防滑仕上げ 厚み約7mm」
で施工して下さい。

物性試験(1)

試験項目	試験結果			試験方法
	防滑仕上げ 厚み約7mm	薄膜防滑仕上げ 厚み約3mm	平滑仕上げ 厚み約4mm	
硬度(ショアーD)	81	81	81	JIS K 7215
耐摩耗性(mg)	80	80	60	CS-17, 9.8N, 1,000回転
圧縮強さ(MPa)	40	40	42	JIS K 6911
曲げ強さ(MPa)	13	13	14	JIS K 6911
耐衝撃性(落球衝撃)	100回 異常なし	100回 異常なし	100回 異常なし	1kg・1m
酸素指数	46	46	32	社内試験
付着強さ(MPa)	2.1(基材凝集破壊)	2.1(基材凝集破壊)	2.0(基材凝集破壊)	建研式引張試験
耐水性	異常なし	異常なし	異常なし	水道水浸漬 1カ月
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆	F☆☆☆☆	JIS K 5601-4-1 デシケーター法
耐熱温度	130°C	90°C	90°C	熱変形温度測定



落球衝撃試験 比較資料(1kg鉄球 1m)

試験結果	レジモルハード UW 防滑仕上げ 厚み約7mm	弊社品 無溶剤エポキシ樹脂塗料
	100回 異常なし	2回 ワレ・浮きが発生

物性試験(2) 耐熱性(防滑仕上げ 厚み約7mmの場合) 耐熱温度: 130°C

試験項目	試験結果	試験方法
	防滑仕上げ 厚み約7mm	
温冷繰り返し試験(1)	5サイクル 異常なし	熱水(95°C) 5分⇔冷水(5°C以下) 5分
温冷繰り返し試験(2)	50サイクル 異常なし	沸騰水 1時間⇔常温水(20°C) 1時間
ビカット軟化点(°C)	210	JIS K 7206 5kg荷重

※物性試験(1)及び(2)の試験結果における数値は、実測値であり、保証値ではありません。

耐薬品性

薬品名	濃度	判定	薬品名	濃度	判定	
酸	塩酸	10% ○	油脂、 その他	灯油	— ◎	
	硫酸	10% ○		ガソリン	— ◎	
	硝酸	10% ○		機械油(3号)	— ◎	
	酢酸	10% ○		次亜塩素酸ナトリウム	20% ○	
	乳酸	10% ○		ひまし油	— ◎	
アルカリ	アンモニア	10% ◎		食塩水	飽和 ◎	
	水酸化ナトリウム	30% ◎		砂糖水	飽和 ◎	
有機溶剤	トルエン	— ◎		判定基準 ◎:異常なし ○:変色するが劣化はしていない		
	酢酸エチル	— ◎				
	エタノール	— ◎				
	アセトン	— ◎				



責任施工体制も
整えております。

お近くの営業所までご相談下さい。

用途



食品工場



厨房



工場床



倉庫



給食センター
配膳センター

など



硬化時間と可使用時間 (硬化促進剤の添加量)

※主剤に対しての添加量です。

	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃
硬化促進剤の添加量	4.0%	3.0%	2.0%	1.0%	0.5%	0
可使用時間	15分	14分	13分	12分	12分	12分
硬化時間	16時間					

注意

- (1) 材料温度は必ず25℃以下となるよう日陰の場所に保存するようにして下さい。材料温度が高いと可使用時間が短くなるばかりでなく、ふくれの原因になります。
- (2) 施工する床の表面温度が30℃以上では仕上がりに影響が出たりふくれが生じる恐れがあります。炎天下での施工は避けて下さい。
- (3) 気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。

荷姿と配合比

	荷姿	消防法	配合比(1バッチ当たりの混合量)			
			防滑仕上げ 厚み約7mm	薄膜防滑仕上げ 厚み約3mm	平滑仕上げ 厚み約4mm	
					下塗	上塗
主剤	4kg・2kg	非危険物	2kg	2kg	4kg	4kg
硬化剤	4kg・2kg	第4類第4石油類	2kg	2kg	4kg	4kg
専用骨材(防滑用)	20kg	非危険物	20kg	—	—	—
専用骨材(平滑用)	20kg	非危険物	—	10kg※ ¹	20kg	20kg
セラサンド HW-B粒	25kg	非危険物	—	2kg	—	—
4号珪砂	30kg	非危険物	—	5kg	—	—
硬化促進剤	320g	非危険物	必要量			
主剤:硬化剤:専用骨材の配合比(質量比)						
※2 薄膜防滑仕上げ 厚み約3mmの配合比です。 主剤:硬化剤:専用骨材(平滑用):セラサンド:4号珪砂			1:1:10	2:2:10:2:5 ※2	1:1:5	1:1:5

※1 薄膜防滑仕上げ 厚み約3mmで配合する専用骨材は「防滑用」ではなく「平滑用」です。ご注意ください。



塗装工程(モルタル工法 防滑仕上げ 厚み約7mm) 新設コンクリート及びモルタルの場合

工程	品名	塗回数(回)	塗付量(kg/m ²)	塗装方法	塗装間隔(20℃)	
1 下地	1.下地コンクリート及びモルタルは金ゴテ仕上げで、十分強度のあるものとします。 2.通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。					
2 下地処理	1.含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 2.必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)により目荒らしを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 3.油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。 4.必要に応じてクラック、穴などを補修します。					
3 目地切り	1.硬化収縮によるはがれを防ぐために、目地切りを行います。 2.平面部は5m間隔を目安に、幅10mm×深さ5~10mmの目地を入れてください。 3.パイプ周りなども同様に欠き込みを入れて下さい。					
4 上塗(モルタル)	ユカクリート レジモルハードUW 主剤	1	1.17 [※]	合計 14.0	コテ	-
	ユカクリート レジモルハードUW 硬化剤		1.17			
	ユカクリート レジモルハードUW 専用骨材 防滑用		11.66			

※レジモルハードUW 気温に応じた規定量のレジモルハードUW硬化促進剤は先に主剤に添加して攪拌して下さい。
その後、硬化剤を入れて再攪拌して下さい。

・配合比は、主剤:硬化剤:専用骨材(防滑用)=1:1:10(質量比)です。

・軽歩行可能時間は16時間以上(20℃)です。

・防滑性を更に向上させる場合は、上塗工程の金ゴテ押えの直後に、アルミナ骨材(#24)を50g/m²散布して下さい。

・防滑仕上げの膜厚は5mm以上必要です。

塗装工程(モルタル工法 薄膜防滑仕上げ 厚み約3mm) 新設コンクリート及びモルタルの場合

工程	品名	塗回数(回)	塗付量(kg/m ²)	塗装方法	塗装間隔(20℃)	
1 下地						
2 下地処理	【防滑仕上げ 厚み約7mm(上記)と同じです。】					
3 目地切り						
4 上塗(モルタル)	ユカクリート レジモルハードUW 主剤	1	0.70 [※]	合計 7.35	コテ	-
	ユカクリート レジモルハードUW 硬化剤		0.70			
	ユカクリート レジモルハードUW 専用骨材 平滑用		3.50			
	セラサンド HW-B粒		0.70			
	4号珪砂		1.75			

※レジモルハードUW 気温に応じた規定量のレジモルハードUW硬化促進剤は先に主剤に添加して攪拌して下さい。
その後、硬化剤を入れて再攪拌して下さい。

・上塗の配合比は、主剤:硬化剤:専用骨材(平滑用):セラサンドHW-B粒:4号珪砂=2:2:10:2:5(質量比)です。

・軽歩行可能時間は16時間以上(20℃)です。

・下地の不陸を調整する場合は、主剤:硬化剤:専用骨材=1:1:5で混合し、2~3kg/m²でしごき塗りして下さい。

その場合は、厚み3mmよりも若干厚みが増す場合があります。

施工上の注意

- ①下地が新設コンクリート及びモルタル以外の場合はご相談下さい。
- ②デジタル式水分計は、(株)ケット科学研究所製造品を指しています。説明書に従って測定して下さい。
- ③同一床面では休まず一気に仕上げして下さい。休むと段差や塗り継ぎができることがあります。
- ④材料温度は必ず25℃以下となるよう日陰の場所に保存するようにして下さい。材料温度が高いと可使用時間が短くなるばかりでなく、ふくれの原因になります。
- ⑤混合攪拌は必ず専用ミキサー(低速400回転/分以下の電動ミキサー)を使用して下さい。高速の電動ミキサーを使用するとふくれが生じる恐れがあります。
- ⑥骨材を加えた後の攪拌時間は最低2分間以上として下さい。
- ⑦容器のふちに残った材料は、ゴムベラなどで除去し使わないで下さい。
- ⑧混合攪拌後は可使用時間以内に流し終えて下さい。
- ⑨施工中は保護手袋を着用して下さい。塗料が皮膚に付着した場合は石鹸でよく洗って下さい。
- ⑩表面温度が30℃以上では仕上がりに影響が出たりふくれが生じる恐れがあります。炎天下での施工は避けて下さい。
- ⑪混合に使用するペール缶などは2~3回毎に新しいものと交換して下さい。
- ⑫運搬時などに施工面に材料がこぼれた場合は必ず拭き取って下さい。残したままで施工しますとふくれの原因になります。
- ⑬気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。



塗装工程(モルタル工法 平滑仕上げ 厚み約4mm) 新設コンクリート及びモルタルの場合

工程	品名	塗回数(回)	塗付量(kg/m ²)	塗装方法	塗装間隔(20℃)	
1 下地						
2 下地処理	【防滑仕上げ 厚み約7mm(4頁上)と同じです。】					
3 目地切り						
4 下塗	ユカクリート レジモルハードUW 主剤	1	0.43 [※]	合計 3.0	コテ	16時間以上
	ユカクリート レジモルハードUW 硬化剤		0.43			
	ユカクリート レジモルハードUW 専用骨材 平滑用		2.14			
5 上塗 (モルタル)	ユカクリート レジモルハードUW 主剤	1	1.00 [※]	合計 7.0	コテ	—
	ユカクリート レジモルハードUW 硬化剤		1.00			
	ユカクリート レジモルハードUW 専用骨材 平滑用		5.00			

※レジモルハードUW 気温に応じた規定量のレジモルハードUW硬化促進剤は先に主剤に添加して攪拌して下さい。
その後、硬化剤を入れて再攪拌して下さい。

- ・配合比は、下塗・上塗(モルタル)ともに、主剤:硬化剤:専用骨材(平滑用)=1:1:5(質量比)です。
- ・軽歩行可能時間は16時間以上(20℃)です。

*施工上の注意は4ページをご覧ください。

施工可能厚みと使用量

厚み(約)	レジモルハードUW 防滑仕上げ 1工程	レジモルハードUW 薄膜防滑仕上げ 1工程	レジモルハードUW 平滑仕上げ 2工程
3mm	×	標準 ○ 7.35kg/m ²	○ 7.5kg/m ² ※1
4mm	×	○ 9.8kg/m ²	標準 ○ 10kg/m ² ※2
5mm	○ 10kg/m ²	—	×
6mm	○ 12kg/m ²	—	×
7mm	標準 ○ 14kg/m ²	—	×
8mm	○ 16kg/m ²	—	×
9mm	○ 18kg/m ²	—	×
10mm	○ 20kg/m ² ※3	—	×

※1、※2 塗付量は2工程の合計値です。1工程で一度に塗付するとふくれの原因となります。

※3 20kg/m²以上を一度に塗付しますと、防滑目的で配合されている粒径の大きな骨材が沈んでしまい、防滑性が低下する場合があります。



本社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6288 FAX.06(6308)3618
 東京支店 〒135-0031 東京都江東区佐賀1丁目18番8号 TEL.03(3642)8431 FAX.03(3643)5560
 名古屋支店 〒452-0962 愛知県清須市春日流77番地1 TEL.052(409)8711 FAX.052(409)8716
 大阪支店 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
 エンジニアリング部 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)4011 FAX.06(6308)6416
 福岡営業所 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号 TEL.092(641)2025 FAX.092(641)4022
 札幌営業所 〒061-3244 石狩市新港南3丁目704番地8 TEL.0133(76)6177 FAX.0133(76)6178
 仙台営業所 〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘1丁目42番55号 TEL.022(272)1323 FAX.022(272)1324
 千葉営業所 〒270-1403 千葉県白井市河原字木戸場364番地13 TEL.047(492)1901 FAX.047(492)1903
 神奈川営業所 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名2507番地10 TEL.042(764)4835 FAX.042(764)4836
 滋賀営業所 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964
 姫路営業所 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号 TEL.079(299)5959 FAX.079(299)5960
 広島営業所 〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目5番15号 TEL.082(277)6464 FAX.082(277)6461

本社工場 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)5822 FAX.06(6308)6285
 滋賀工場 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964

ホームページアドレス <http://www.daido-toryo.co.jp>



製品の規格及び仕様は改良等のため
予告なく変更する場合があります。

50 -1177

'12. 2. 4版 5,000 LO